

I 調査の概要（共通）

1 調査の目的

男女共同参画社会の実現をめざして「第4次大東市男女共同参画社会行動計画（カラフルプラン）」を見直すにあたり、計画づくりの基礎資料とするため、男女共同参画に関する意識調査を行いました。

2 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

第1編 男女共同参画小学生意識調査

I 調査方法

調査対象：市内の市立小学校の5年生

有効回収数：764人（女性393人 男性362人 どちらともいえない7人 無回答2人）

実施時期：令和4年11月

II 調査結果のまとめ（集計・分析）

1. あなた自身について

- ・男女はほぼ同じ割合となっています。

2. 男女平等と性別役割分担意識について

（男女平等の意識）

- ・性別に関わらず、5割以上が否定的にとらえている項目は、「学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている」、「教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうが向いている」、「いろいろな場面で、男子より女子のほうが甘やかされている」、「いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている」の4項目となっています。
- ・前回調査と比較すると、いずれの項目も否定的にとらえている割合が増加しています。

（家庭でのお手伝い）

- ・家庭でのお手伝いは、性別に関わらず、「何もしていない」の割合が低くなっています。

（家事の分担）

- ・家事は、現状「母親」が担っている割合が高くなっていますが、意識では、「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」の割合が高くなっています。

（男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験）

- ・「男の子だから〇〇しなさい」や、「女の子だから〇〇しなさい」と言われた経験は、男性よりも女性のほうが高くなっています。

また、性別「どちらともいえない」のうち7割が「言われる」「ときどき言われる」と回答しています。

（男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験－①言われる内容）

- ・女性は印象や見た目が求められ、男性はたくましさを求められる傾向があります。
- また、性別「どちらともいえない」では、「言葉づかい」、「すわり方」、「キャラクターや色を選ぶとき」の割合が高くなっています。

（男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験－②言う人物）

- ・性別に関わらず「母」の割合が最も高くなっています。

(男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験－③気持ち)

- ・前回調査と比較すると、性別に関わらず、否定的にとらえている割合が増加しています。

(家庭での男女の役割分担)

- ・「男は仕事をし、女は外で働かずに家事や子育てをする」という考え方は、性別に関わらず否定的にとらえている割合が高くなっています。

前回調査と比較すると否定的にとらえている割合が増加しています。

3. 自分への評価について

(自己評価)

- ・自分のことについて、「好き」、「どちらかといえば好き」と答えた割合は、「女」「男」とも6割となっています。

また、性別「どちらともいえない」では、「好きではない」、「どちらかといえば好きではない」の割合が高くなっています。

(大人からの保護)

- ・周りのおとなから大切にされているかについては、「大切にされていると思う」「どちらかといえば大切にされていると思う」を合わせると、「女」「男」とも8割で肯定的にとらえている割合が高くなっています。

また、性別「どちらともいえない」では、肯定的にとらえている割合は4割となっています。

(相談相手)

- ・性別に関わらず、主な相談相手は「母」、「父」、「友だち」の割合が高くなっています。

4. 用語について

(男女共同参画に関する言葉の認知率)

- ・「セクハラ(セクシュアル ハラスメント)」、「ジェンダー」の認知率は高くなっていますが、他の言葉は低くなっています。

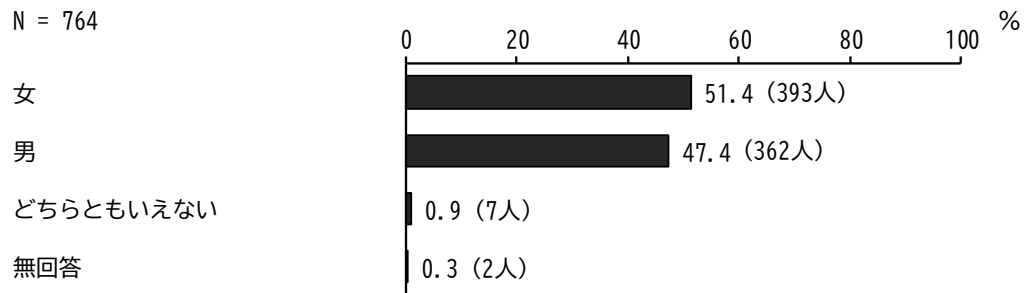
また、性別「どちらともいえない」では、すべての項目で認知率が高くなっています。

Ⅲ 調査結果

1 あなた自身について

問1 あなたの性別は。(チェックは1つ)

「女」の割合が51.4%、「男」の割合が47.4%、「どちらともいえない」が0.9%となっています。

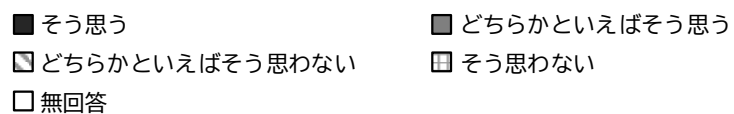


2 男女平等と性別役割分担意識について

問2 次のことについてどう思いますか。

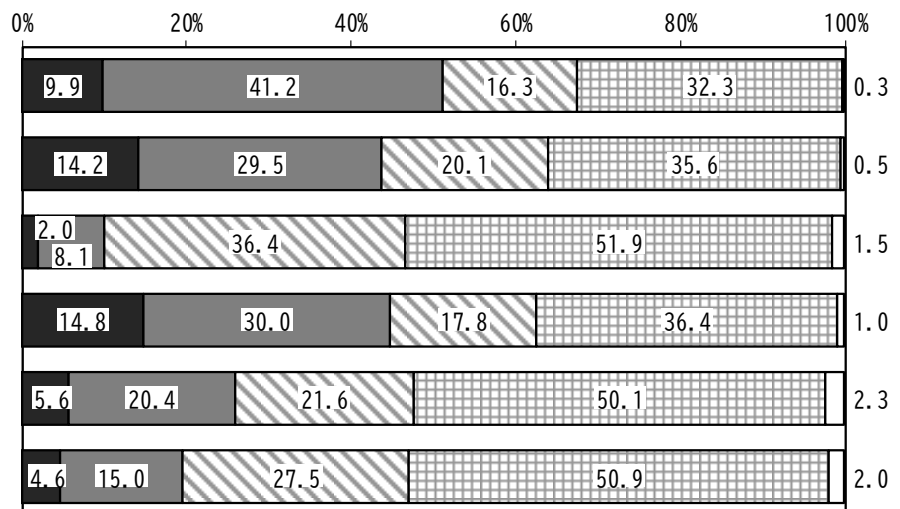
女性では『1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、『3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が高くなっています。

男性では『1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。』、『2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。』で“そう思う”の割合が高くなっています。また、『3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。』で“そう思わない”の割合が高くなっています。



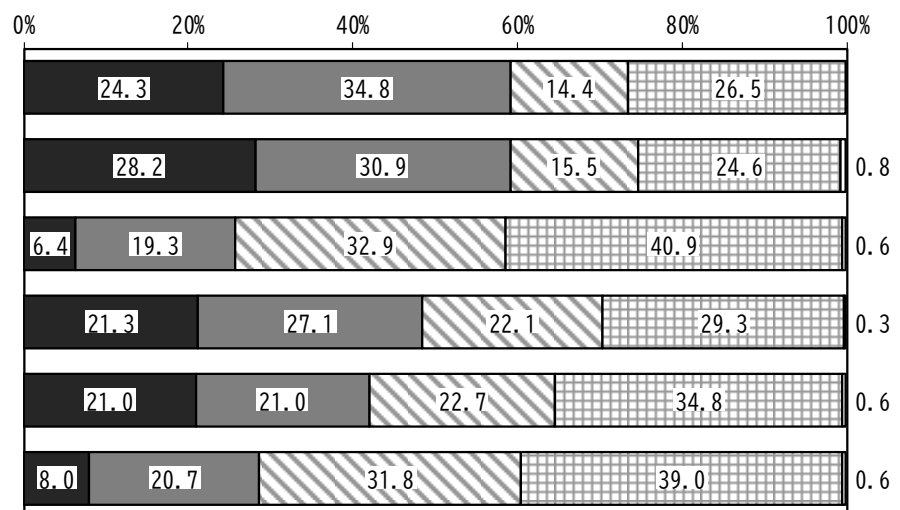
【女性】
N = 393

- 1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。
- 2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。
- 3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。
- 4) 教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうが向いている。
- 5) いろいろな場面で、男子より女子のほうがあまやかされている。
- 6) いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている。

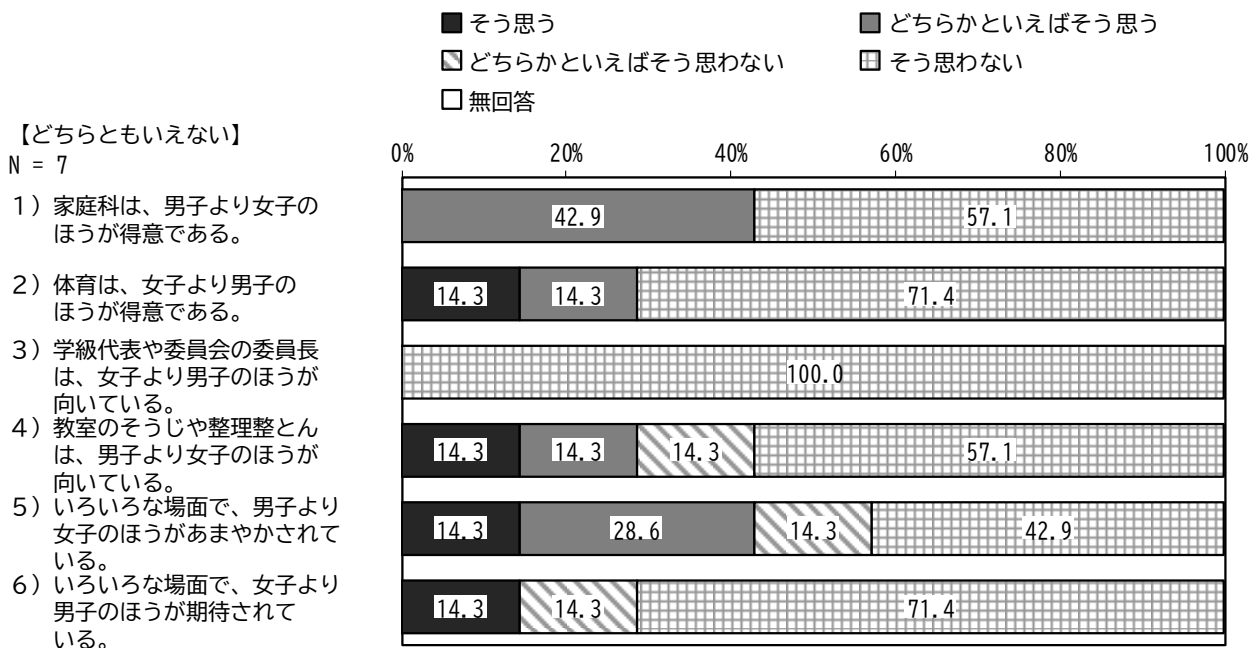


【男性】
N = 362

- 1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。
- 2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。
- 3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。
- 4) 教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうが向いている。
- 5) いろいろな場面で、男子より女子のほうがあまやかされている。
- 6) いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている。



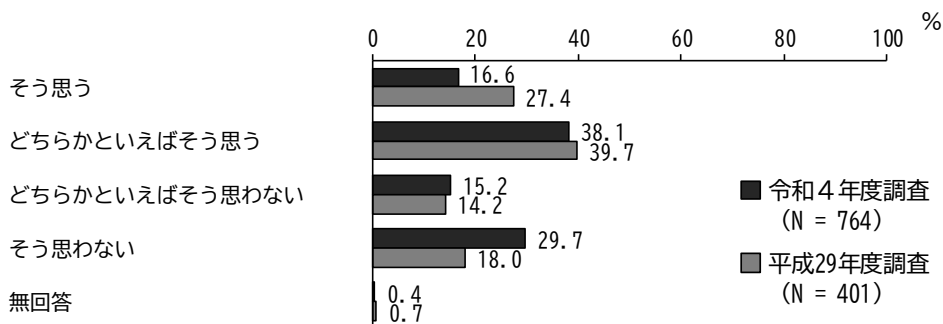
どちらともいえないではすべての項目で“そう思わない”の割合が高くなっています。



1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。

「どちらかといえばそう思う」の割合が38.1%と最も高く、次いで「そう思わない」の割合が29.7%、「そう思う」の割合が16.6%となっています。

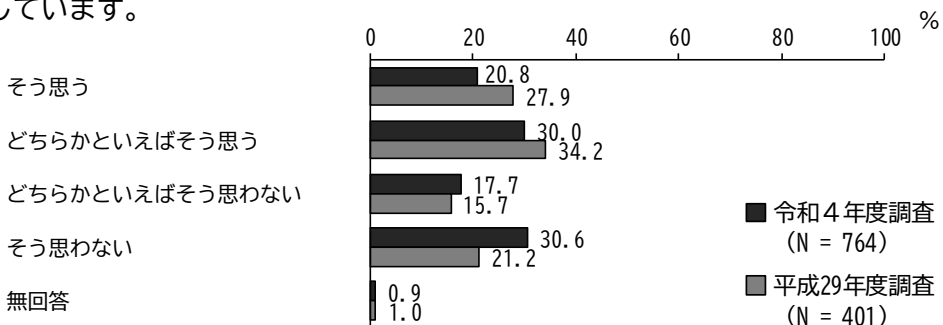
平成29年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。

「そう思わない」の割合が30.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が30.0%、「そう思う」の割合が20.8%となっています。

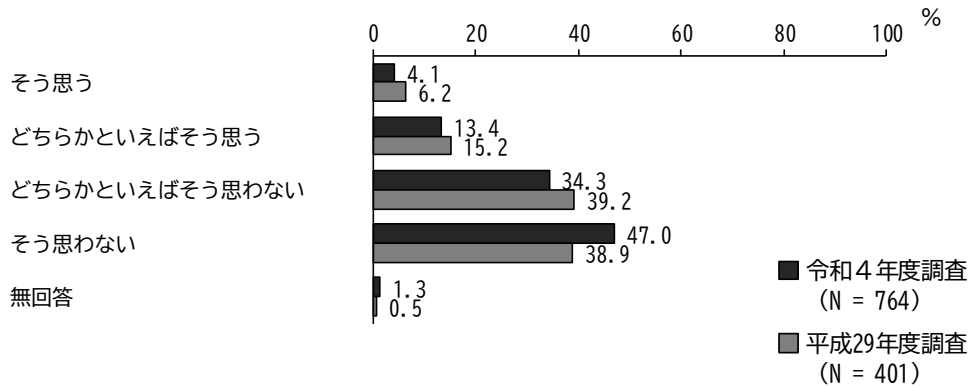
平成29年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。

「そう思わない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」の割合が34.3%、「どちらかといえばそう思う」の割合が13.4%となっています。

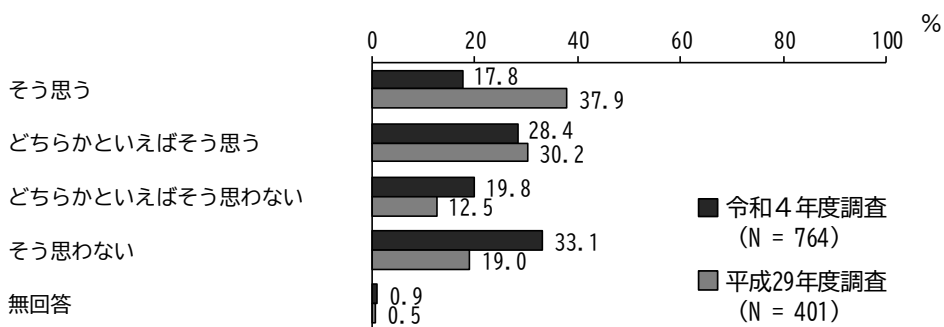
平成29年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。



4) 教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうが向いている。

「そう思わない」の割合が33.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が28.4%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が19.8%となっています。

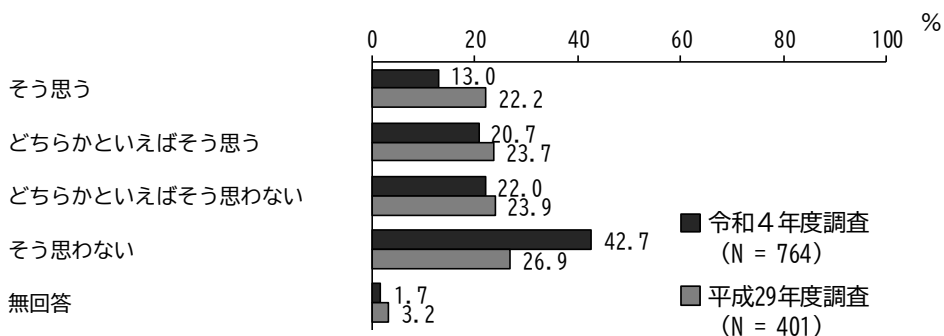
平成29年度調査と比較すると、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



5) いろいろな場面で、男子より女子のほうがあまやかされている。

「そう思わない」の割合が42.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」の割合が22.0%、「どちらかといえばそう思う」の割合が20.7%となっています。

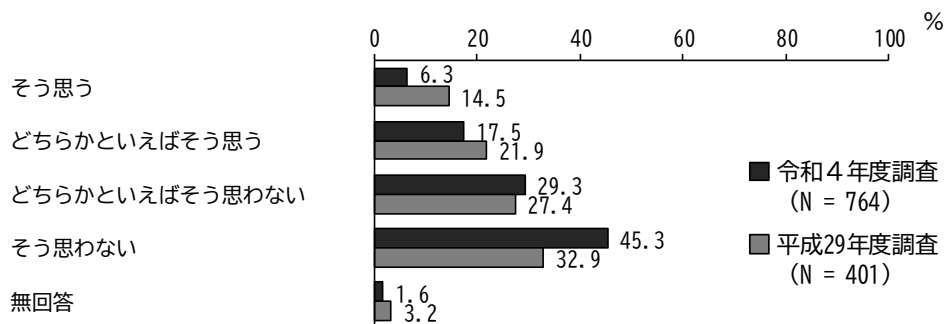
平成29年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



6) いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている。

「そう思わない」の割合が45.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」の割合が29.3%、「どちらかといえばそう思う」の割合が17.5%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



問3 あなたは家の中で、どのようなお手伝いをしますか。(あてはまるものすべてにチェック)

女性では、「食事のじゅんび」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「食事の後かたづけ」の割合が 52.4%、「ふろそうじ」の割合が 46.1%となっています。

男性では、「食事のじゅんび」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「食事の後かたづけ」の割合が 48.9%、「ふろそうじ」の割合が 46.1%となっています。

どちらともいえないでは、「ペットの世話や花の水やり」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「食事の後かたづけ」の割合が 42.9%、「そうじ」の割合が 42.9%、「きょうだいの世話」の割合が 42.9%「家の仕事の手伝い」の割合が 42.9%となっています。

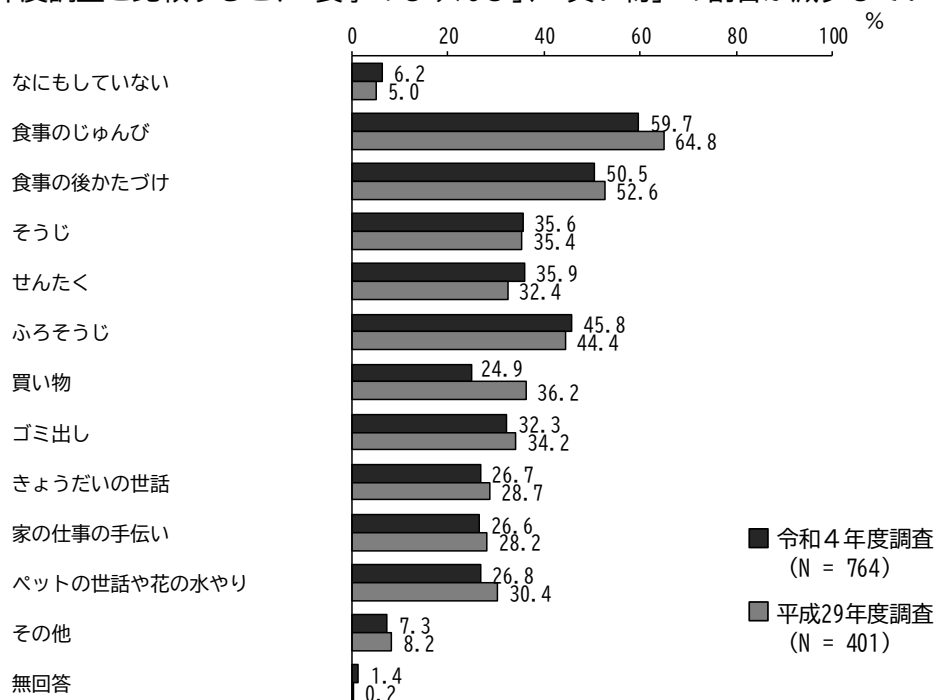
【性別】

単位：%

区分	N (件)	なにもしていない	食事のじゅんび	食事の後かたづけ	そうじ	せんたく	ふろそうじ	買い物	ゴミ出し	きょうだいの世話	家の仕事の手伝い	ペットの世話や花の水やり	その他	無回答
全体	764	6.2	59.7	50.5	35.6	35.9	45.8	24.9	32.3	26.7	26.6	26.8	7.3	1.4
女性	393	5.3	63.4	52.4	34.4	40.2	46.1	24.4	31.0	31.8	28.8	29.5	8.4	1.0
男性	362	7.2	56.9	48.9	37.0	31.5	46.1	25.7	34.0	21.0	24.0	23.5	6.1	1.4
どちらともいえない	7	—	14.3	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3	28.6	42.9	42.9	57.1	14.3	—

【経年】

平成 29 年度調査と比較すると、「食事のじゅんび」、「買い物」の割合が減少しています。



小学生 問3 その他回答
新聞を取りに行く
布団の上げ下ろし
玄関の靴をならべる
靴を洗う
古紙回収

その他 45 件

問4 あなたの家では、料理や、そうじ、せんたくのような家事は、主にだれがやっていますか。(チェックは1つ)

女性では、「ほとんど母親」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば母親」の割合が 22.4%、「母親と父親同じくらい」の割合が 18.8%となっています。

男性では、「ほとんど母親」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「母親と父親同じくらい」の割合が 20.7%、「どちらかといえば母親」の割合が 16.9%、となっています。

どちらともいえないでは、「ほとんど母親」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば母親」の割合が 28.6%、「ほとんど父親」の割合が 28.6%となっています。

単位：%

区分	N (件)	ほとんど 母親	どちらか といえば 母親	どちらか といえば 父親	ほとんど 父親	母親と 父親同じ くらい	その他 の人	無 回答
全体	764	53.0	19.8	1.0	1.3	19.5	4.3	1.0
女性	393	52.4	22.4	1.3	0.8	18.8	3.6	0.8
男性	362	54.1	16.9	0.8	1.4	20.7	5.2	0.8
どちらともいえない	7	42.9	28.6	—	28.6	—	—	—

問5 あなたは家の中で、料理やそうじ、せんたくのような家事はだれがやるのが一番よいと思いますか。(チェックは1つ)

女性では、「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」の割合が74.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が11.2%、「女の人がやるのがよい」の割合が9.9%となっています。

男性では、「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」の割合が63.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が16.6%、「女の人がやるのがよい」の割合が12.7%となっています。

どちらともいえないでは、「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」の割合が85.7%と最も高く、次いで「女の人がやるのがよい」の割合が14.3%となっています。

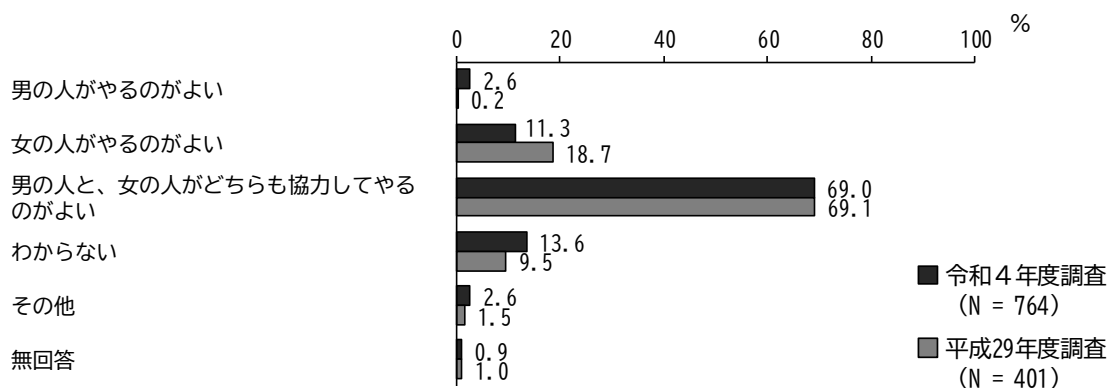
【性別】

単位：%

区分	N (件)	男の人がやるのがよい	女の人がやるのがよい	男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい	わからない	その他	無回答
全体	764	2.6	11.3	69.0	13.6	2.6	0.9
女	393	1.3	9.9	74.0	11.2	2.8	0.8
男	362	4.1	12.7	63.5	16.6	2.5	0.6
どちらともいえない	7	—	14.3	85.7	—	—	—

【経年】

平成29年度調査と比較すると、「女の人がやるのがよい」の割合が減少しています。



小学生 問5 その他回答
誰がやってもよいと思う
家族みんなでやればよい
気づいた人がやる

問6 あなたは、「男の子だから〇〇しなさい」や、「女の子だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(チェックは1つ)

女性では、「まったく言われぬ」の割合が30.3%と最も高く、次いで、「あまり言われぬ」の割合が29.3%、「ときどき言われる」の割合が26.7%となっています。

男性では、「あまり言われぬ」の割合が37.8%と最も高く、次いで、「まったく言われぬ」の割合が33.7%、「ときどき言われる」の割合が16.9%となっています。

どちらともいえないでは、「ときどき言われる」の割合が42.9%と最も高く、次いで「よく言われる」の割合が28.6%、「まったく言われぬ」の割合が14.3%、となっています。

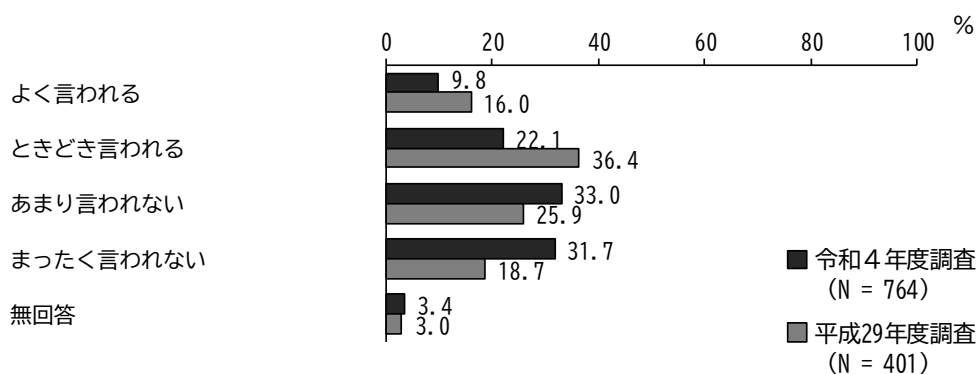
【性別】

単位：%

区分	N (件)	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われぬ	まったく言われぬ	無回答
全体	764	9.8	22.1	33.0	31.7	3.4
女	393	10.7	26.7	29.3	30.3	3.1
男	362	8.6	16.9	37.8	33.7	3.0
どちらともいえない	7	28.6	42.9	—	14.3	14.3

【経年】

平成29年度調査と比較すると、「あまり言われぬ」、「まったく言われぬ」の割合が増加しています。一方、「よく言われる」、「ときどき言われる」の割合が減少しています。



問6-① 【問6で、「1. よく言われる」「2. ときどき言われる」と答えた人にお聞きします。】

どのようなとき、どのような事について言われますか。(あてはまるものすべてにチェック)

女性では、「言葉づかい」の割合が58.5%と最も高く、次いで「すわり方」の割合が46.9%、「整理整とん」の割合が41.5%、となっています。

男性では、「泣いたとき」の割合が45.7%と最も高く、次いで、「整理整とん」の割合が30.4%、「言葉づかい」の割合が27.2%となっています。

どちらともいえないでは、「言葉づかい」の割合が80.0%、「すわり方」の割合が80.0%、「キャラクターや色を選ぶとき」の割合が80.0%となっています。

【性別】

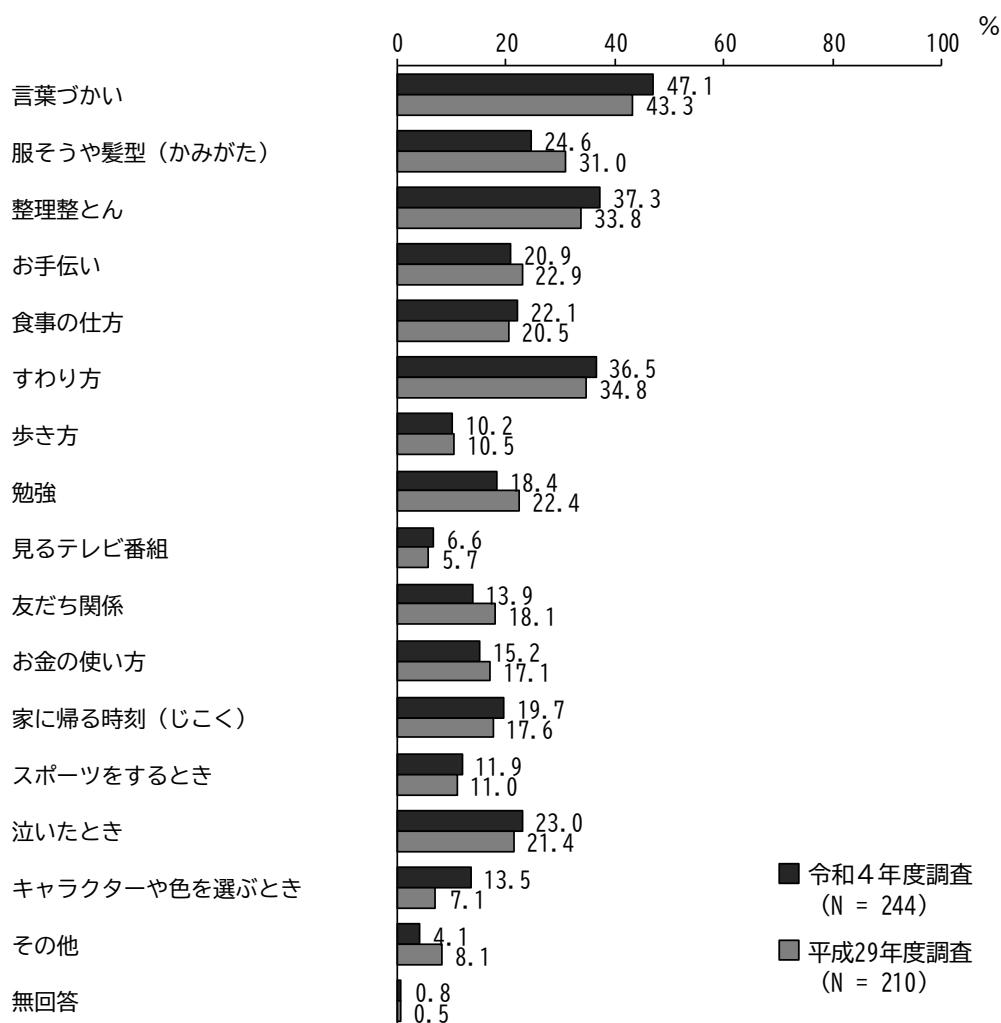
単位：%

区分	N (件)	言葉づかい	服そうや髪型 (かみがた)	整理整とん	お手伝い	食事の仕方	すわり方	歩き方	勉強
全体	244	47.1	24.6	37.3	20.9	22.1	36.5	10.2	18.4
女	147	58.5	29.9	41.5	19.7	21.1	46.9	11.6	16.3
男	92	27.2	15.2	30.4	22.8	23.9	17.4	7.6	22.8
どちらともいえない	5	80.0	40.0	40.0	20.0	20.0	80.0	20.0	—

区分	見るテレビ番組	友だち関係	お金の使い方	家に帰る時刻 (じく)	スポーツをするとき	泣いたとき	キャラクターや色を選ぶとき	その他	無回答
全体	6.6	13.9	15.2	19.7	11.9	23.0	13.5	4.1	0.8
女	2.7	11.6	11.6	19.7	2.7	8.8	12.9	3.4	—
男	10.9	17.4	20.7	18.5	26.1	45.7	10.9	5.4	2.2
どちらともいえない	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	80.0	—	—

平成29年度調査と比較すると、「キャラクターや色を選ぶとき」の割合が増加しています。一方、「服そうや髪型（かみがた）」の割合が減少しています。

【経年】



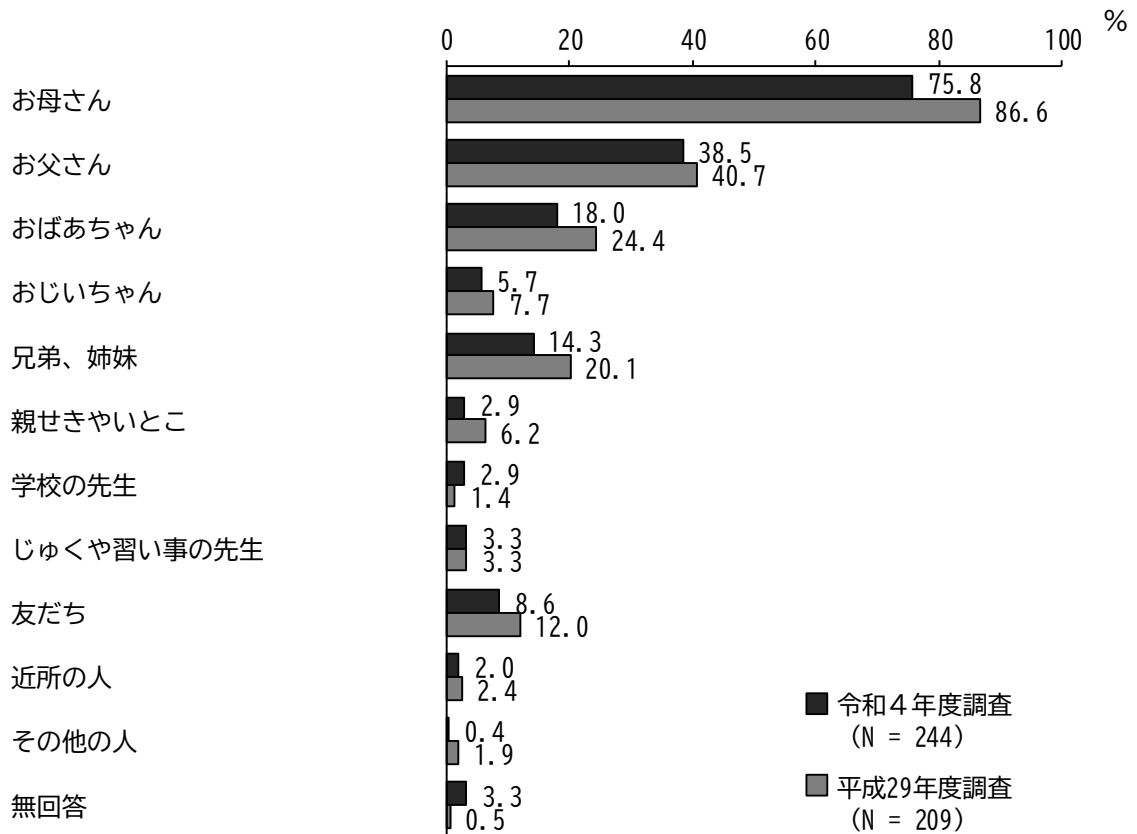
小学生 問6-① その他回答
化粧水を塗りなさい。
荷物を持つとき
ハンカチを忘れたとき

問6-② 【問6で、「1. よく言われる」「2. ときどき言われる」と答えた人にお聞きします。】

それは、だれに言われますか。(あてはまるものすべてにチェック)

「お母さん」の割合が75.8%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が38.5%、「おばあちゃん」の割合が18.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「お母さん」、「おばあちゃん」、「兄弟、姉妹」の割合が減少しています。



小学生 問6-② その他回答

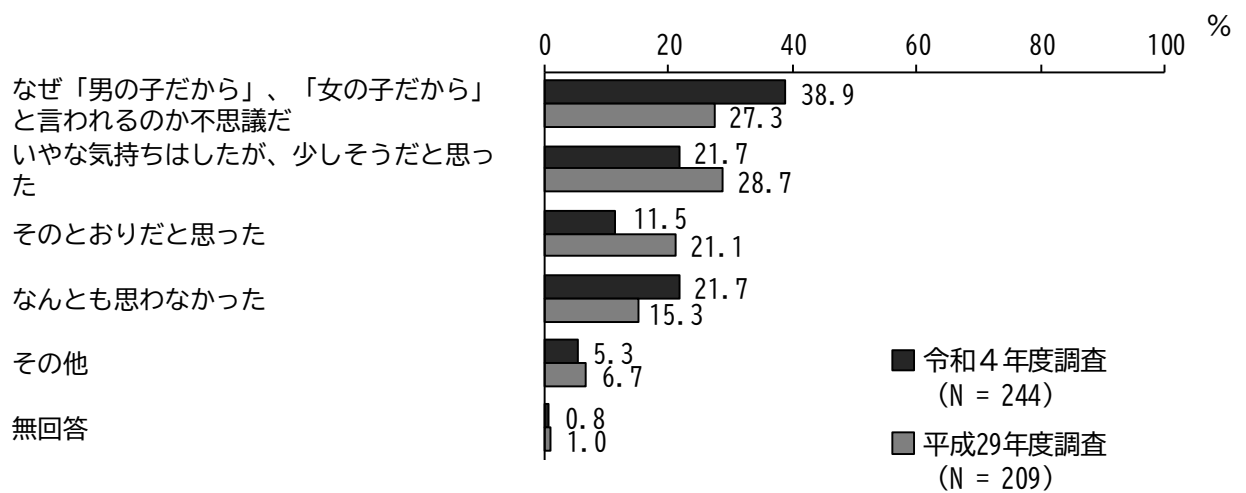
すれ違った人や、あまり親しくない親せきなど

問6-③ 【問6で、「1. よく言われる」「2. ときどき言われる」と答えた人にお聞きします。】

あなたは、その時どんな気持ちがありましたか。(チェックは1つ)

「なぜ「男の子だから」、「女の子だから」と言われるのか不思議だ」の割合が38.9%と最も高く、次いで「いやな気持ちはしたが、少しそうだと思った」、「なんとも思わなかった」の割合が21.7%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「なぜ「男の子だから」、「女の子だから」と言われるのか不思議だ」、「なんとも思わなかった」の割合が増加しています。一方、「いやな気持ちはしたが、少しそうだと思った」、「そのとおりだと思った」の割合が減少しています。



小学生 問6-③ その他回答

嫌だった

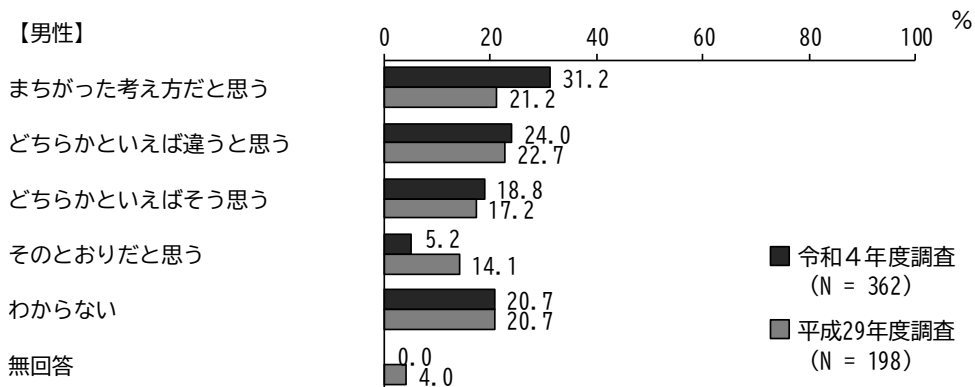
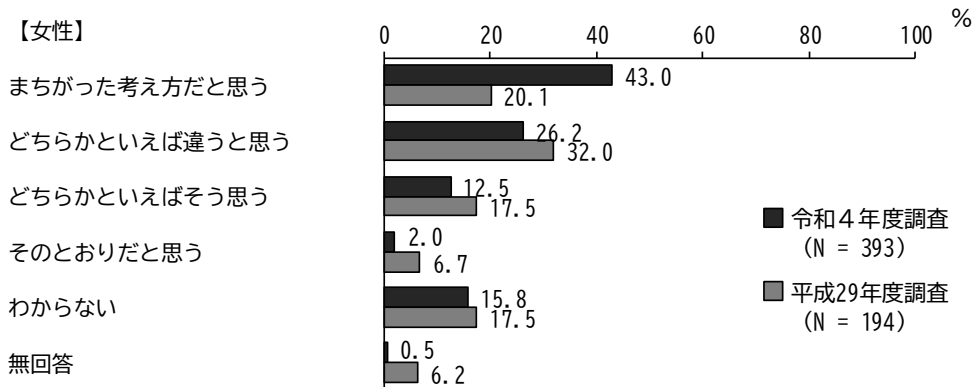
男女をわけたがる社会や大人に腹が立った

問7 「男は仕事をし、女は外で働かずに家事や子育てをする」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(チェックは1つ)

女性では、「まちがった考え方だと思う」の割合が43.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば違うと思う」の割合が26.2%、「わからない」の割合が15.8%となっています。

男性では、「まちがった考え方だと思う」の割合が31.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば違うと思う」の割合が24.0%、「わからない」の割合が20.7%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「まちがった考え方だと思う」の割合が増加しています。一方、「そのとおりだと思う」の割合が減少しています。



3 自分への評価について

問8 あなたは、自分のことが好きですか。(チェックは1つ)

女性では、「どちらかといえば好き」の割合が39.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば好きではない」の割合が23.7%、「好き」の割合が18.1%、となっています。

男性では、「どちらかといえば好き」の割合が40.1%と最も高く、次いで「好き」の割合が24.6%、「どちらかといえば好きではない」の割合が18.0%、となっています。

どちらともいえないでは、「好きではない」の割合が57.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば好きではない」の割合が28.6%、「好き」の割合が14.3%、となっています。

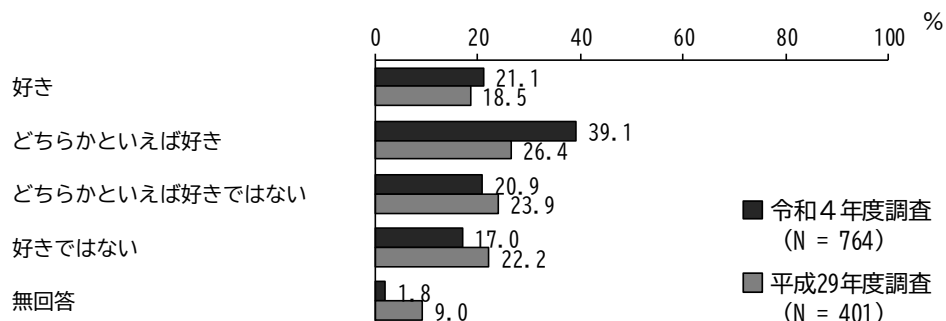
【性別】

単位：%

区分	N (件)	好き	どちらか といえば好き	どちらか といえば好きで はない	好き ではない	無 回 答
全体	764	21.1	39.1	20.9	17.0	1.8
女性	393	18.1	39.2	23.7	16.0	3.1
男性	362	24.6	40.1	18.0	17.4	—
どちらともいえない	7	14.3	—	28.6	57.1	—

【経年】

平成29年度調査と比較すると、「どちらかといえば好き」の割合が増加しています。一方、「好きではない」の割合が減少しています。



問9 あなたは、周りのおとなから大切にされていると思いますか。(チェックは1つ)

女性では、「大切にされていると思う」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば大切にされていると思う」の割合が 24.7%、「わからない」の割合が 12.5%となっています。

男性では、「大切にされていると思う」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば大切にされていると思う」の割合が 24.3%、「わからない」の割合が 18.2%となっています。

どちらともいえないでは、「わからない」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「大切にされていると思う」の割合が 28.6%、「どちらかといえば大切にされていると思う」の割合が 14.3%、「大切にされていないと思う」の割合が 14.3%となっています。

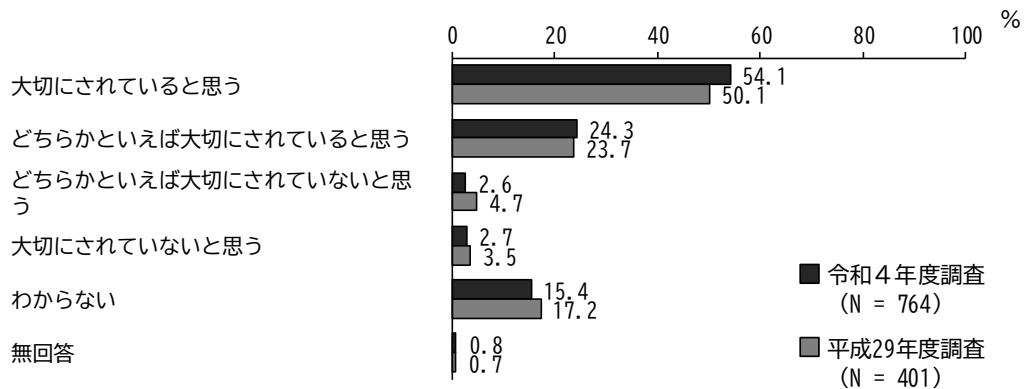
【性別】

単位：%

区分	N (件)	大切にされていると思う	どちらかといえば大切にされていると思う	どちらかといえば大切にされていないと思う	大切にされていないと思う	わからない	無回答
全体	764	54.1	24.3	2.6	2.7	15.4	0.8
女性	393	57.8	24.7	2.0	2.0	12.5	1.0
男性	362	50.8	24.3	3.3	3.3	18.2	—
どちらともいえない	7	28.6	14.3	—	14.3	42.9	—

【経年】

平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問10 あなたになやみや心配事がある時、相談できる人はいますか。(あてはまるものすべてにチェック)

女性では、「友だち」の割合が72.5%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が70.5%、「兄弟、姉妹」の割合が34.6%となっています。

男性では、「お母さん」の割合が74.6%と最も高く、次いで「友だち」の割合が64.4%、「お父さん」の割合が52.5%となっています。

どちらともいえないでは、「お母さん」、「友だち」の割合が42.9%と最も高く、次いで、「ネットだけの友だち」、「いない」の割合が28.6%となっています。

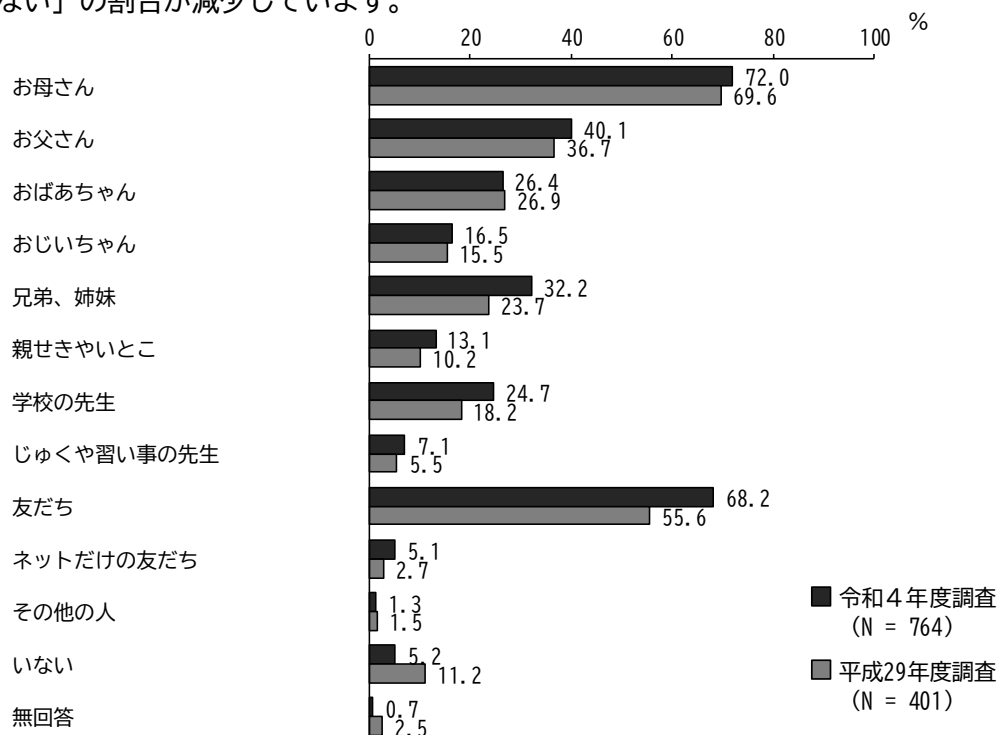
【性別】

単位：%

区分	N (件)	お母さん	お父さん	おばあちゃん	おじいちゃん	兄弟、姉妹	親せきやいとこ	学校の先生	じゅくや習い事の先生	友だち	ネットだけの友だち	その他の人	いない	無回答
全体	764	72.0	40.1	26.4	16.5	32.2	13.1	24.7	7.1	68.2	5.1	1.3	5.2	0.7
女性	393	70.5	29.3	22.9	12.5	34.6	14.2	22.4	6.6	72.5	7.4	1.5	5.3	0.3
男性	362	74.6	52.5	30.9	21.3	30.1	11.9	27.6	7.7	64.4	2.2	1.1	4.7	0.6
どちらともいえない	7	42.9	14.3	—	—	14.3	14.3	14.3	—	42.9	28.6	—	28.6	—

【経年】

平成29年度調査と比較すると、「兄弟、姉妹」、「学校の先生」、「友だち」の割合が増加しています。一方、「いない」の割合が減少しています。

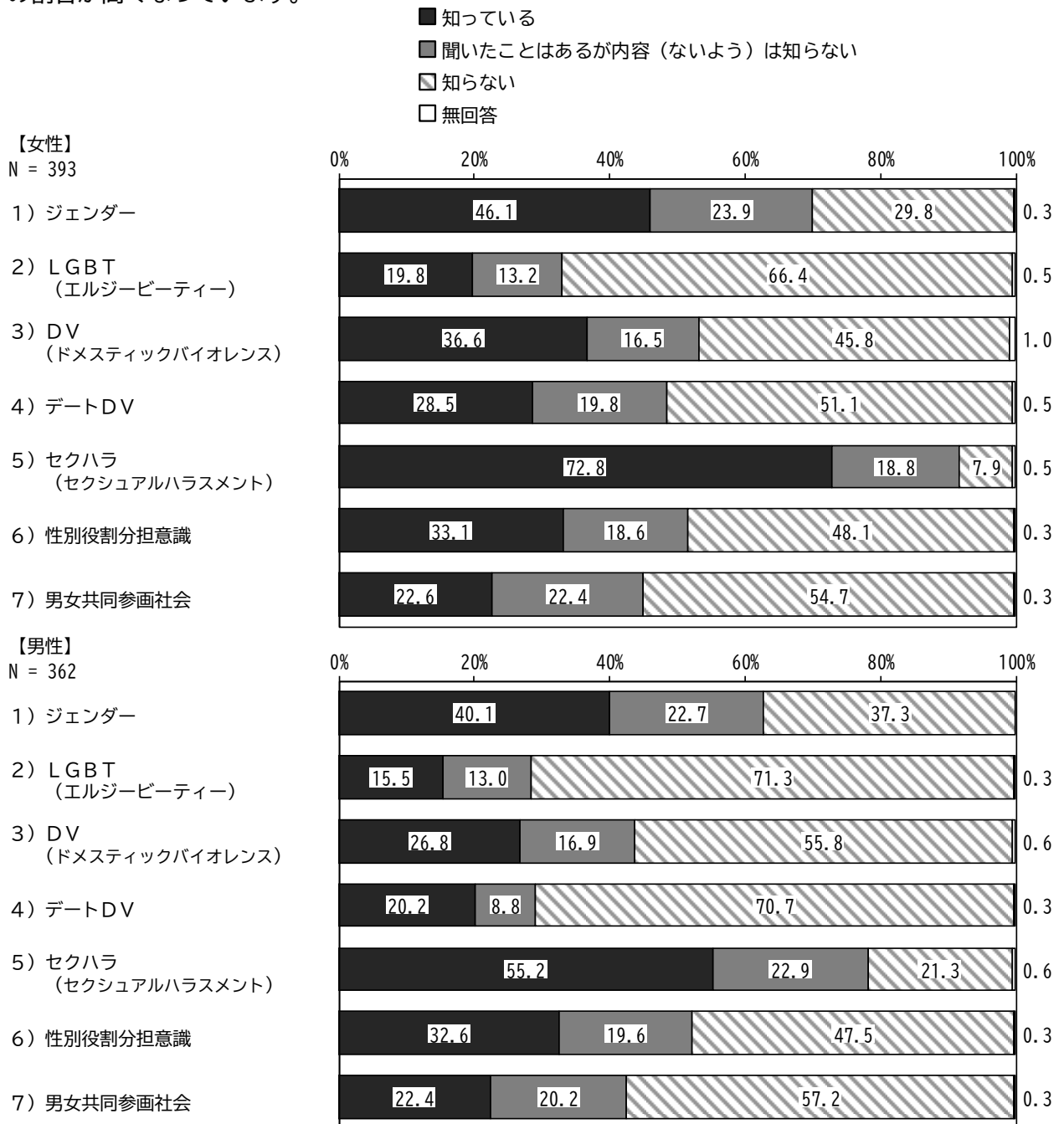


小学生 問10 その他回答
人形(ぬいぐるみ)
悩み事がないのでわからない
誰にでも相談できる

4 用語について

問11 あなたは、次の言葉を知っていますか。(チェックはそれぞれ1つ)

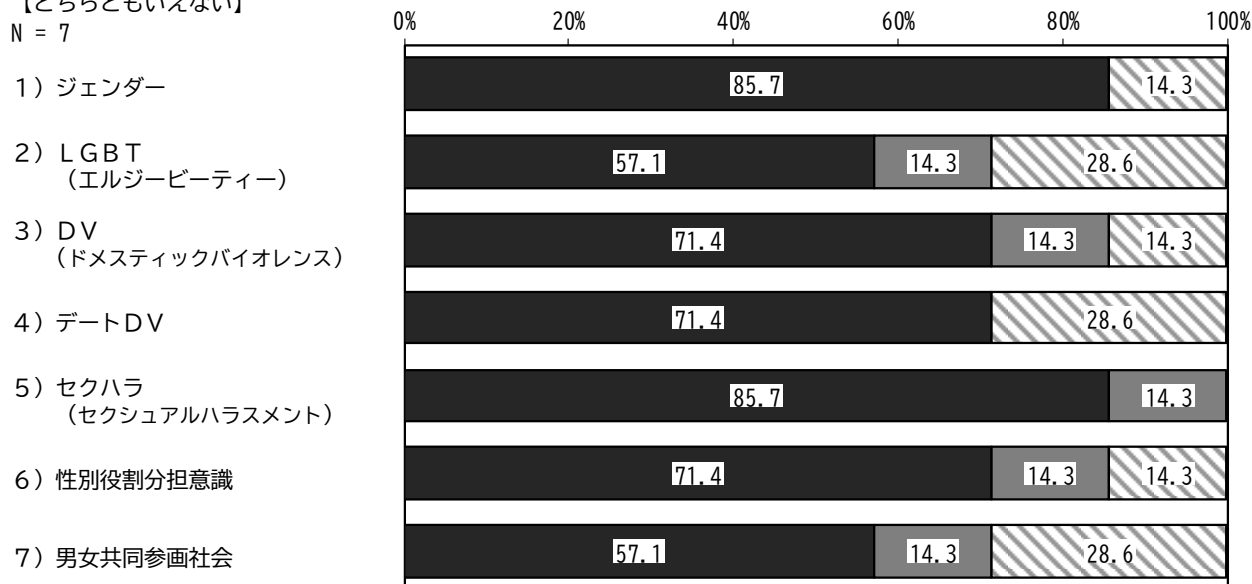
女性、男性ともに、同様の傾向となっており、『5) セクハラ (セクシュアルハラスメント)』で「知っている」の割合が高くなっています。また、女性で『2) LGBT (エルジービーティー)』で「知らない」の割合が、男性で『2) LGBT (エルジービーティー)』、『4) デートDV』で「知らない」の割合が高くなっています。



どちらともいえないでは、すべての項目で「知っている」の割合が高くなっています。

- 知っている
- 聞いたことはあるが内容（ないよう）は知らない
- ▨ 知らない
- 無回答

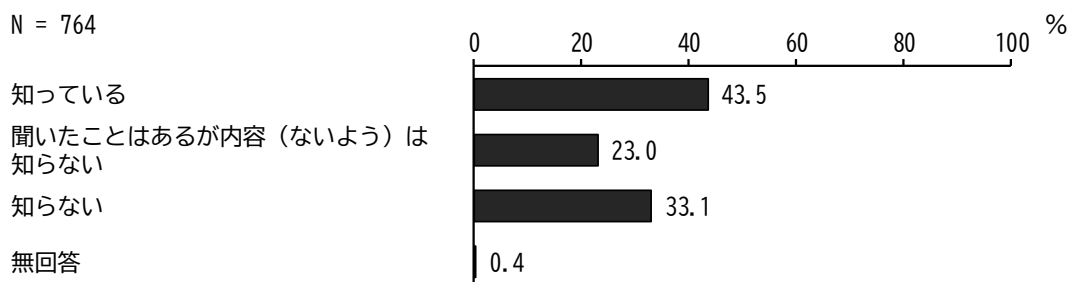
【どちらともいえない】
N = 7



1) ジェンダー

「知っている」の割合が43.5%と最も高く、次いで「知らない」の割合が33.1%、「聞いたことはあるが内容（ないよう）は知らない」の割合が23.0%となっています。

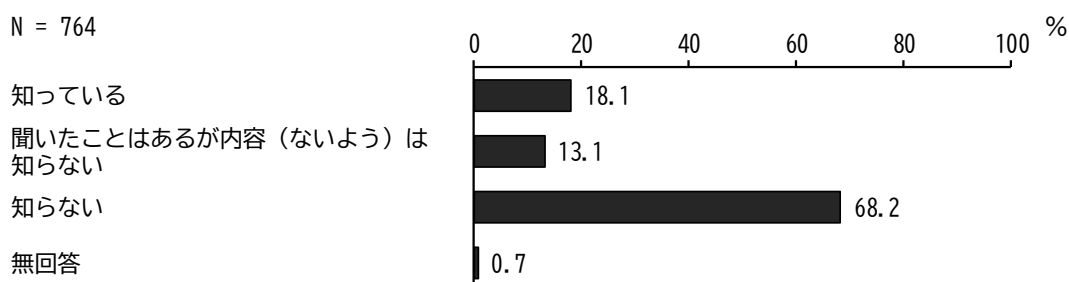
N = 764



2) LGBT (エルジービーティー)

「知らない」の割合が68.2%と最も高く、次いで「知っている」の割合が18.1%、「聞いたことはあるが内容（ないよう）は知らない」の割合が13.1%となっています。

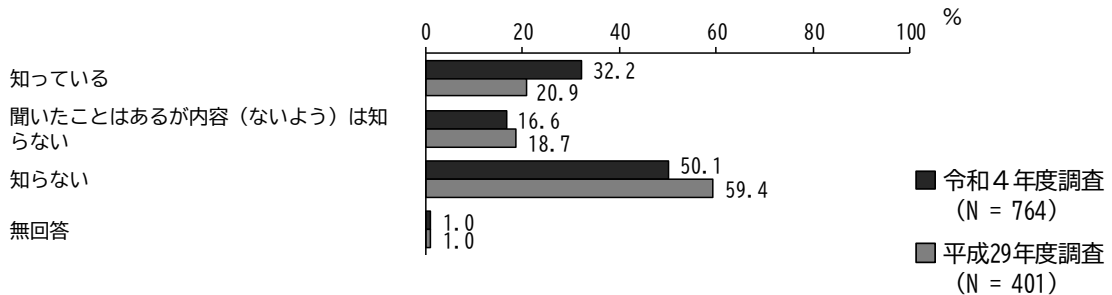
N = 764



3) DV(ドメスティックバイオレンス)

「知らない」の割合が50.1%と最も高く、次いで「知っている」の割合が32.2%、「聞いたことはあるが内容(ないよう)は知らない」の割合が16.6%となっています。

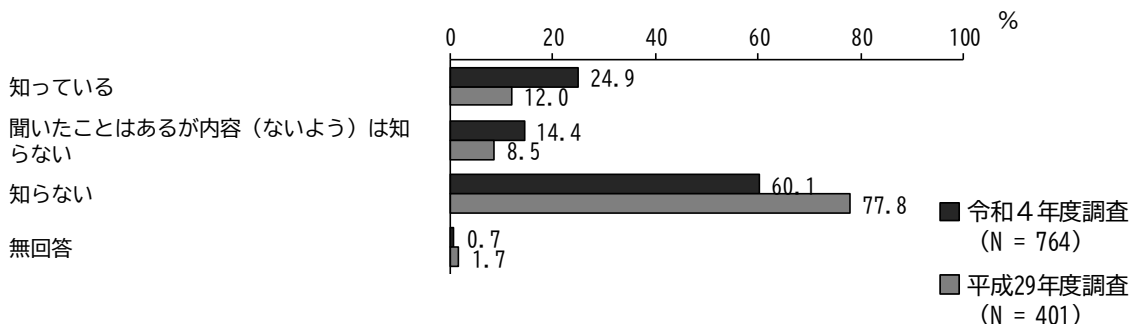
平成29年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



4) デートDV

「知らない」の割合が60.1%と最も高く、次いで「知っている」の割合が24.9%、「聞いたことはあるが内容(ないよう)は知らない」の割合が14.4%となっています。

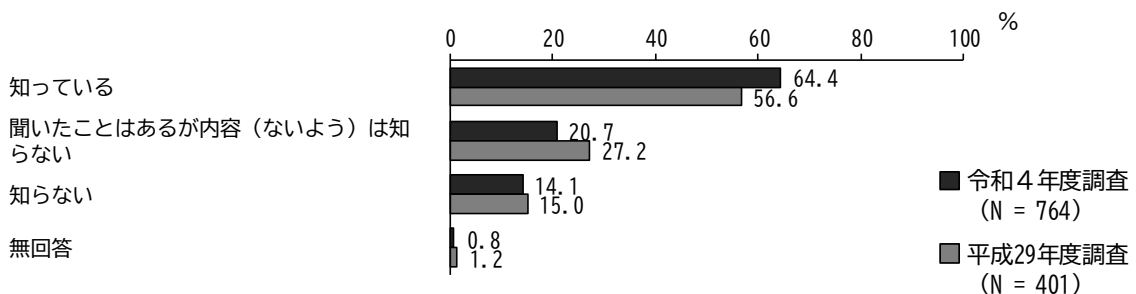
平成29年度調査と比較すると、「知っている」、「聞いたことはあるが内容(ないよう)は知らない」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



5) セクハラ(セクシュアル ハラスメント)

「知っている」の割合が64.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容(ないよう)は知らない」の割合が20.7%、「知らない」の割合が14.1%となっています。

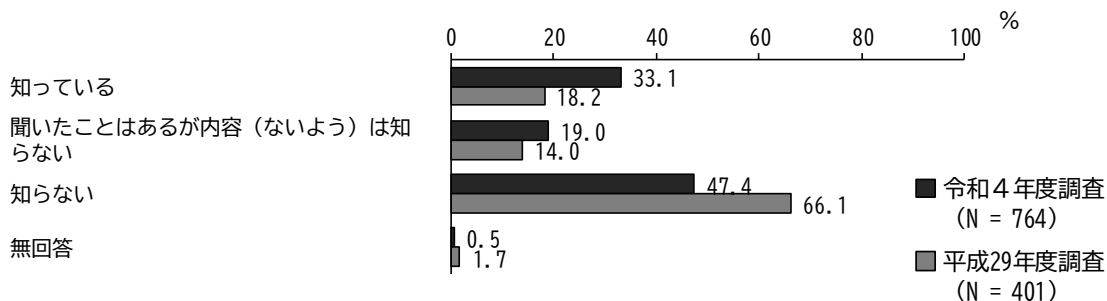
平成29年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。一方、「聞いたことはあるが内容(ないよう)は知らない」の割合が減少しています。



6) 性別役割分担意識 (せいべつやくわりぶんたんいしき)

「知らない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「知っている」の割合が33.1%、「聞いたことはあるが内容(ないよう)は知らない」の割合が19.0%となっています。

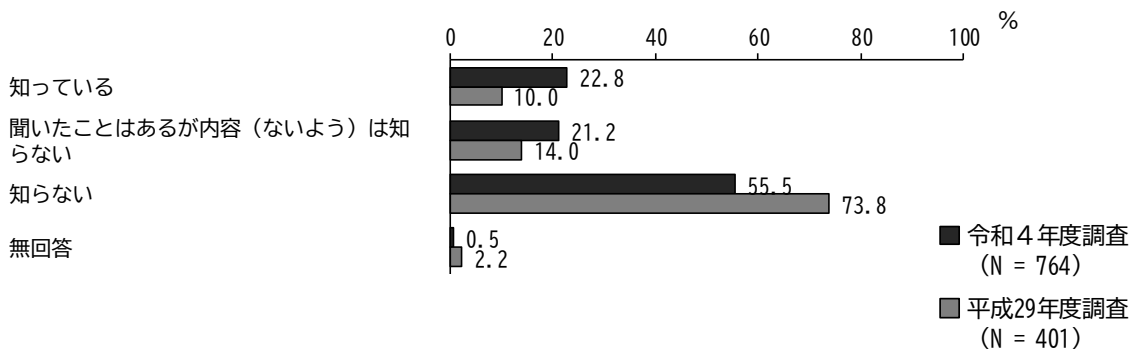
平成29年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



7) 男女共同参画社会

「知らない」の割合が55.5%と最も高く、次いで「知っている」の割合が22.8%、「聞いたことはあるが内容(ないよう)は知らない」の割合が21.2%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「知っている」、「聞いたことはあるが内容(ないよう)は知らない」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



5 自由記入

問12 あなたは現在、自分が男子または女子に生まれたことをよかったと思いますか。その理由も書いてください。

「自分が男子または女子に生まれたことをよかったと思いますか。」の問いに対して、464人が回答しています。

主な理由

「よかったと思う」

女子はメイクや自分磨きを頑張れたりできるので女の子に生まれてよかったと思う
なぜなら、女子だと他の女子の子たちとより仲良くなれるからです。女子は同じ女子を好み女子と友達になる傾向があるので、男子だと今の友達と友達にはなれていなかったと思います。ですが、少しの期間男子になってみたいという要望もあります。なぜなら男子の視点も知ってこそ女子か男子どちらが自分にとって良いか比較できるからです
色んな服を選べたりして、女子でしかできないことなどができるから
なぜなら、自分を周りのみんなが受け入れてくれるし、自分もこの性別でよかったと思うからです
子供を産むのが辛いから男子にして良かったです
なぜなら、力強く働いて役に立てるからです
私には女の子の妹がいて私が男の子だったら好みがあわなかったりして、一緒に遊べなかったりして寂しいからです、でも女の子に生まれて好みがあったりして、一緒に遊べるから女の子に生まれてきて良かったなと思っています
お父さん以外全員女子だし、気が合うから女子にうまれてきてよかった
色んな事が出来るので女子で生まれてよかったと思う
なぜなら、おかあさんといっしょにお出かけできるからです。あと、女の子は顔をメイクでどうにかできるからです
理由はファッションやメイクができるから
男子でもいろいろなことができるけど、女子も男子よりがんばったらできると思う
ケンカがあまりないから
自分自身どっちに生まれても後悔してなかったと思います
なぜなら、男子には友達が多く作りやすいため学校で仲良くなれることができるからだ
理由は、しゃべるのが楽しい、いろんな話題を知れる、とにかく楽しい
なぜなら、生まれることさえできない子もいる中でも幸せだと思ったからです

「どちらともいえない」

どっちでも変わらない

理由は、男子でも女子でもやりたいことをやるのを見守ってくれる人がいるからです
--

「思わない」

女子は大人になったら出産するかもしれないから

カッコいいものが好きやし兄弟が兄だけだから男っぽい服が好きやから。生まれてきたのは嬉しい
--

「わからない、未記入」

考えたことがない

あまり思いつかないです
